

『ハマロード知っ得出前講座』進行表

【講座名：1 君も1日ハマロードサポーター！
～身近な道路をきれいに、美しく！～】

場 所：教室⇒周辺現場

時 間	項 目	小 項 目	内 容	使用器具・備考
5分 (5分)	はじめに	◆自己紹介	・市（区）役所の仕事について	ポイント プロジェクター
10分 (15分)	道路・交通 政策局につ いて	◆道路・交通政策局の組織 ◆道路の役割 ◆道路・交通政策局の仕事 ◆土木事務所の仕事	・どんな役にたっているの？ ・どんなことをしているの？ ・どんな仕事をしているの？ ・君たちはどう思っていた？	
10分 (25分)	ハマロー ド・サポー ターとは？	◆ハマロード・サポーターの説明	・どういうものなの？ ・どういうことをやっているの？ ・どういう訳でできたの？ ・どういう人たちがやっているの？ ・身近な道路を「きれいにする」という ことについて	
10分 (35分)	質問タイム			
40分 (75分)	体験	◆歩道、植栽帯の清掃・花植え	※体験場所の選定については、調整させて いただきます。 ※実際のハマロード・サポーターの方々の 参加も調整によっては可能です。	軍手 ショベル 花苗 ジョウロ 等
5分 (80分)	まとめ		・体験してどうだったか？	

使用器具は道路・交通政策局でご用意致します。

『ハマロード知っ得出前講座』 進行表

【講座名：2 道路パトロール隊出発！
～身近な道路を改めて点検してみよう！～】

場 所：教室⇒周辺現場

時 間	項 目	小 項 目	内 容	使用器具・備考
02分 (02分)	自己紹介	◆横浜市道路・交通政策局、土木事務所	・道路局の所管業務説明 ・土木事務所の業務 要望、陳情の内容・種類（カーブミラー設置、ガードレール設置、舗装の補修、歩道設置、道路の不法占用、道路の清掃、街路樹の剪定、道路を掘削することの許可、道路の拡幅など…）	パワポイント プロジェクター
05分 (07分)	道路の種類役目	◆国道、県道、市道 ◆交通施設 ◆収容空間 ◆防災空間	・道路の規格、位置づけの説明 ・人の移動、生活物資輸送 ・上下水道、ガス、電気 ・延焼拡大防止、雨水処理	市民利用者 のため
13分 (20分)	道路の危険箇所	◆要望事例 ◆維持管理上危険箇所 ◆交通事故危険箇所	・要望事例説明 (例えばスクールゾーン協議会からの要望) ・ヒヤリ・ハット実例を子供達から聞く ・舗装、安全施設の損傷等 ・交通事故の状況、見通しの悪い交差点等	
05分 (25分)	日常点検	◆・点検項目 (点検ポイント)	・点検項目、着眼点	
20分 (45分)	交通安全 総点検 (まち歩き)	◆現地点検 ◆ヒヤリハットマップ	・実際に危険箇所等の確認 (子供・先生からの要望箇所 or 土木事務所選定によるルートを点検項目に沿って点検) ・教室で検討するための写真を撮る	カメラ
10分 (55分)	休 憩			
15分 (70分)	点検後の 対策案検討	◆意見交換 ◆対策立案に当たっての課題 ◆歩行者や自転車の義務や責任 ◆安全対策方法 ◆効果測定	・写真を見ながら意見交換を行う。 ・予算の確保（予算額の積算、予算化） ・地域の了解（地権者、自治会、学校等） ・優先順位の検討 ・警察など関係者との連携 ・法令遵守（規則を守る） ・自分の身は自分で守る意識 ・運転者の視点（死角、錯覚、不注意） ・児童から対策案を収集し、それに対する考え方を説明する（効果や問題点） ・現地点検した危険箇所の対策案を掲示する (短期的な対策や中長期的な視点に立って説明) (事例として、小学校近くで交差点改良事業を行って いれば、現状と将来計画を説明) (交通事故原因に応じた安全対策について説明) ・効果の確認の仕方 事故件数の減少、アンケート等	
5分 (75分)	まとめ	◆点検と交通安全	・パトロール等を通して交通安全に対する意識の向上を図る。	
10分 (85分)	質疑応答 アンケート			

※発見した危険箇所で、実際に改善策を講じた場合は、後日報告します。※使用器具は道路・交通政策局
でご用意致します。

『ハマロード知っ得出前講座』進行表

【講座名：3 道路と福祉の関係を考えよう！】

場 所：教室

時 間	項 目	小 項 目	内 容	使用器具・備考
02分 (02分)	自己紹介	◆横浜市道路・交通政策局	説明担当者の紹介	パワーポイント プロジェクター
15分 (17分)	バリアフリーって何？	◆バリアフリーって何？ ◆人によってバリアは違う ◆バリアを無くすにはどうすればいいか	・バリアフリーの意味 ・障害の種類により、バリアとなるものが違うことを理解してもらう。 ・バリアフリー化の整備事例紹介 [どんな対応が必要か一緒に考えてもらいます。] <u>説明の流れ</u> Q. 障害により困っている人がいます。どうすればよいでしょうか？⇒A. バリアフリー化による整備事例を説明	
10分 (27分)	まちのバリアフリー化を進めるために	◆なぜまち全体のバリアフリー化が必要なのか ◆まち全体のバリアフリー化を進めるための取組み	・まちの全体のバリアフリー化が進まないと意味がない。 ・まちのバリアフリー化は誰が進めるのか。 ・協力してまち全体のバリアフリー化を進めるための取組 ⇒バリアフリー基本構想策定の取組紹介	
8分 (35分)	私たちにもできる！ バリアフリー化の取組？	◆エレベーターや点字ブロックを造っただけではバリアフリーにならない ◆皆さんにもできる「心のバリアフリー」	・点字ブロックの上に自転車が止めてあったら？ ・エレベーターを必要としている人がいます。 ⇒自分たちにもできる。「心のバリアフリー」 ・困っている人を見かけたらどうすればよいか ・高齢者、障害者などへの手助けの仕方 [どんな対応が必要か一緒に考えてもらいます。] <u>説明の流れ</u> ハード整備を進めただけではバリアフリーにならない ⇒もう一度思い出して！それを必要としている人がいます ⇒どうすればいいか 高齢者・障害者の手助け方法の具体例紹介	
10分 (45分)	質疑応答			

※使用器具は道路・交通政策局でご用意致します。

※スライドを使用しますので、暗くできる部屋の用意をお願いします。

『ハマロード知っ得出前講座』 進行表

【講座名：4 横浜環状道路（高速道路）を知ろう！
～よこかんを知って、高速道路の役割を学ぼう～】

場 所：教室

時 間	項 目	小 項 目	内 容	使用器具
3分 (3分)	はじめに	◆自己紹介	横浜市役所、道路・交通政策局の仕事について	パワポイト プロジェクター
10分 (13分)	道路の知識	◆道路の目的、役割 ◆道路の種類 ◆日本の道路の規模 ◆道路はどのようにつくられるのか？	・通学路などを利用して移動、物の輸送、ライフラインの収容スペース、防災、街の空間の一部（身近な公共施設である道路が、私たちの生活にどのようにかかわっているか） ・高速道路、高規格幹線道路、一般道路 ・日本の道路全てを合計した延長、面積 ・計画から測量・設計・工事・維持管理、作るのに必要なお金	
20分 (33分)	横浜環状道路（高速道路）のつくり方	◆道路整備による変化、効果 ◆高速道路の役割 ◆横浜環状道路のつくり方（道路の構造） ◆その他、環境対策など ◆事例紹介	・横浜の交通の状況から高速道路の必要性 ・道路の構造（橋・トンネル・地上）の違い、どのようにつくるのか ・環境にかかわる構造物（換気所、遮音壁）、工事中の対策、トンネルを掘ることによって生じる土の使いみち、環境アセスメントなど ・写真を用いて、工事の状況等を紹介	
7分 (40分)	質問			
5分 (45分)	まとめ		・人と道路の関わりに対する理解を深めてもらい、道路事業（ものづくり）に興味を持ってもらう。	

※使用器具は道路・交通政策局でご用意致します。